

報道関係者各位

2026 年 8 月 12 日

株式会社 JDSC

JDSC、製造業の設計・開発プロセスを革新する新ソリューション 「Co-design engine（超高速仮説思考エンジン）」の提供を開始 ～システムズエンジニアリングと AI で、設計部門間の合意形成を高速化～

株式会社 JDSC（本社：東京都文京区、代表取締役：加藤 エルテス 聡志 / 佐藤飛鳥、以下「JDSC」）は、製造業の設計・開発プロセスにおける設計調整と合意形成を支援する新ソリューション「Co-design engine（超高速仮説思考エンジン）」の提供を開始いたしました。

本ソリューションは、システムズエンジニアリングと AI を融合し、意匠・空力・熱・回路など複数の専門領域や OEM とサプライヤーなど、組織・企業をまたぐ複雑な設計調整を高速化します。従来、ベテラン人材の勘や経験に依存していた設計判断の根拠を定量化・構造化することで、属人化の解消と開発リードタイムの短縮を同時に実現します。今回は自動車開発における「意匠×空力×熱」で提供を開始しますが、今後は製造業全般や、複雑な物理・機能トレードオフを伴うさまざまな産業への展開を予定しています。

<開発の背景>

顧客ニーズの多様化、製品ライフサイクルの短縮、カーボンニュートラル対応、サプライチェーンリスクの高まり、グローバル競争の激化など、製造業を取り巻く環境は急速に変化しています。

特に自動車業界では、設計上流における意思決定の精度が下流工程の手戻りやコスト増大等に影響を及ぼします。一方、熟練人材の減少により、個人の勘や経験に依存した従来型の開発プロセスは限界を迎えつつあります。

JDSC は、現場が抱えるこうした構造的課題に向き合い、異なる専門領域の要求を整理し、合意形成へ導く熟練技術者の判断プロセスを独自の「調停プロトコル」として構造化しました。この調停プロトコルと AI を融合することで、複雑な技術トレードオフの整理と意思決定を支援する本ソリューションを開発しました。複数の部門や企業間で行われる設計条件の確認、調整案の検討、合意形成を支援することで、組織間のすり合わせに要する工数を大幅に削減します。

<今後の展開>

JDSC は、導入時の課題の整理から、各企業・各領域に合わせた調停プロトコルの構築、システムへの実装、導入後の運用・改善まで一貫して支援します。今後は自動車分野で培った知見をもとに、重工、プラント、化学、建設、まちづくりなど、複数の専門領域が関わる産業へ展開を進め、AI による設計・開発プロセスの高度化を支援してまいります。

本ソリューションは、2026 年 9 月に開催される「オートモーティブ ワールド [秋]」にて初公開し、以下の展示会に出展します。

- ・ 2026 年 9 月 9 日（水）～11 日（金）「オートモーティブワールド [秋]」／幕張メッセ
- ・ 2026 年 11 月 25 日（水）～27 日（金）「[名古屋] オートモーティブワールド」／愛知県国際展示場（Aichi Sky Expo）

JDSC は、今後も AI エージェントとデータサイエンスを核に、日本の基幹産業の変革を進めるテクノロジーカンパニーとして、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。

以上

■株式会社 JDSC について <https://jdsc.ai/>

JDSC は、AI エージェントとデータサイエンスを核に、日本の基幹産業の変革を進めるテクノロジーカンパニーです。製造・物流・インフラ・公共などの現場に深く入り込み、DX や AX による意思決定の高度化から、フィジカル AI による現実世界の最適化・自律化までを実現。社会課題を解決する新たな産業スタンダードを創り、日本のアップグレードに貢献します。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社 JDSC 広報担当 info@jdsc.ai